

令和 8 年度事業計画

我が国の総人口（2025 年 12 月 1 日現在）は、前年に比べ約 57 万 9 千人減少して 1 億 2,316 万 5 千人となり、65 歳以上の高齢者人口も前年に比べ約 2 万 2 千人減少し、3,621 万人で総人口に占める割合は、29.4%となった。（出典：総務省統計局資料）

また、「団塊の世代」が令和 4 年から 75 歳を迎え始めたことにより、75 歳以上の高齢者は前年に比べ約 45 万 8 千人増加し、2,134 万 6 千人となり、総人口に占める割合が初めて 17.3%となった。この割合は今後も上昇を続け、1971 年～74 年の第二次ベビーブーム生まれの「団塊ジュニア」が、65 歳以上となる 2040 年には、高齢者の割合が約 35%程度までに上昇すると推測され、併せて、現役世代が急減する見込みである。

このような状況下で、当センターが地域社会を担う一員として存在意義を高めていくためには、高齢者のニーズに合った就業機会やサークル活動、ボランティア活動など、社会の担い手として活躍できる環境を提供することである。

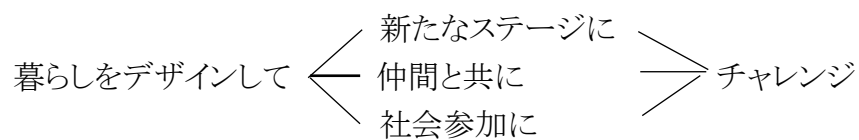
令和 8 年度は、諸物価の高騰等による必要経費の増加により、これまで取り崩していた特定資産に充当するため、事務費率を 10%から 13%に引き上げる。

また、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス新法）に適用すべく、「新しい契約方法」へ移行して、会員の就業環境の整備に取り組んでいく。

第 4 次中期基本計画（令和 5 年度～令和 9 年度の 5 カ年計画）は、令和 7 年度に目標指標と取り組みについて中間評価及び適宜見直しを行い、令和 8 年度からの後期期間における新たな目標指標と取り組み方法が設定された。当センターを取り巻く事業環境は、基本計画の設定当初と大きく変わってきているが、目標指標の達成に向けて着実に実行していく。

第 4 次中期基本計画のスローガンを実践すべく、以下に掲げる基本方針に基づき事業を執行する。

<スローガン>



【令和 8 年度目標指標】

会員数	受注件数	契約金額	就業率	就業延人員
2,125 人	13,935 件	854,000 千円	67.4%	185,400 人日

※労働者派遣事業も含む

1 基本方針

- (1) 安全就業の強化
- (2) 就業機会の拡大
- (3) 会員の増強
- (4) 研修会の開催
- (5) 適正就業の推進
- (6) 労働者派遣事業と職業紹介事業の推進
- (7) 普及啓発の推進
- (8) ボランティア活動の推進
- (9) 組織の活性化
- (10) 財政の健全化

2 実施計画

(1) 安全就業の強化

- ア 安全委員や安全・適正就業推進員による就業先巡回を実施して、就業環境の把握と会員の安全意識の啓発に努める。
- イ 自転車の交通違反に導入される交通反則通告制度（通称：青切符）とともに、自転車保険の加入義務化とヘルメット着用の努力義務化の周知に努める。
- ウ 熱中症予防対策として講習会を開催するとともに、適宜注意喚起を行う。
- エ 生活習慣病に起因する事故の撲滅を図るため、特定健康診査等の受診の奨励に努める。
- オ 事務所棟内に健康セルフチェックコーナーを設置して、日常的な体調管理の促進に努める。
- カ A I を駆使したドライブレコーダーを活用して、運転傾向の分析を行い、その結果に基づく注意喚起を行って交通事故の未然防止に努める。
また、飲酒運転の撲滅に向けて、同乗者等と器具による運転者のアルコールチェックを引き続き実施する。
- キ 入会会員には、ヒヤリハット事例集を配付してセンターの組織全体として事故の防止に努める。

(2) 就業機会の拡大

- ア 就業機会創出委員会と就業開拓員が主体となって、新規就業先の開拓に努める。さらに、既存の発注者に対しては、他の職種の提案をして就業機会の拡大を図る。
- イ 独自事業（学習教室、英会話教室、えいごであそぼう教室、リズム体操教室、太極拳教室）の充実を図るとともに、会員の経験や資格を活かした新たな事業の創出を検討する。
- ウ 仕事情報を掲載した「シルバー通信」を月2回発行して、公民館等に配置するとともに、Smile to Smile、センターのホームページや掲示板に受注状況を公開して、情報提供に努める。
- エ 現在でも活用できる有資格者の情報をセンターのホームページ等に掲載して、新たな職域の拡大に努める。
- オ 会員の組織力を活用して口コミによる就業機会の拡大に努める。

(3) 会員の増強

- ア 予約定員制による入会説明会を開催する。入会説明会の際には、会員増強委員会委員による就業体験発表を引き続き行う。
- イ 川口市やハローワークなどの公共機関と連携して、出張説明会の開催やセンター事業のPRに努める。
- ウ ※シルボンヌが企画した催しを通して、新たな女性会員の獲得とともに、横のつながりの強化を図る。
- エ 会員の口コミによる新規会員紹介制度の浸透に努め、入会の促進を図る。
- オ 入会希望者を対象に実施したアンケート調査では、川口市発行の「広報かわぐち」の会員募集記事を参考にした人が多数を占めていたので、引き続き掲載の依頼を行う。
- カ イベント参加時には、シルバー事業の紹介ボードを掲示してPRを図るとともに、個別の就業相談を行って入会につなげる。

(4) 研修会の開催

- ア 就業に役立つ知識や技能の習得を目的に技能研修会を開催する。
- イ 信頼関係を築くためのコミュニケーション能力向上を目的とした接遇研修会や個人情報保護の意識向上を目的とした個人情報保護研修会を開催する。
- ウ 高齢社会に伴い、深刻な社会問題となっている認知症について正しい知識を学ぶための研修会を開催する。
- エ 高齢期における情報格差の解消を目的に簡単スマホ教室を開催するとともに、Smile to Smile（センターと会員とのWebを使ったコミュニケーションサービス）登録会を開催して、時間や場所の制限を受けずに情報を伝達できるSmile to Smileの普及啓発に努める。
- オ シニア世代の学び直しの機会となるような研修会を開催する。

(5) 適正就業の推進

- ア 会員の就業環境整備のため新しい契約方法へ移行する。また、移行に伴う事務手続きについては、正確かつ適正な執行に努める。
- イ 請負・委任契約に適さない形態の就業については、労働者派遣事業や職業紹介事業を発注者に提案して、適正就業の推進を図る。
- ウ 適正就業推進委員会では、就業基準に関する要綱に基づき発注者への訪問や会員個別面談を行い、ワークシェアリングを推進する。
- エ 労働者派遣事業における適正な運営を確保するため、派遣期間の制限順守と安全衛生管理体制の充実を図る。

(6) 労働者派遣事業と職業紹介事業の推進

ア 新たな職域の拡大と就業形態の多様化への対応を図るため、労働者派遣事業及び職業紹介事業を推進する。

イ 労働者派遣事業については、公益財団法人いきいき埼玉（埼玉県シルバー人材センター連合）のシルバー派遣事業実施事業所として行う。

(7) 普及啓発の推進

ア センターの事業目的に沿うイベントには、積極的に参加する。

イ 10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間には、「シルバーフェスティバル」や「クリーン作戦」を実施する。

ウ センターホームページを活用して各種情報を発信する。

エ 「広報かわぐち」にセンター事業について掲載を依頼するとともに、市内を循環するバスの車内放送を行う。

(8) ボランティア活動の推進

ア 犯罪の発生を抑止し、安全で安心な地域社会とするため、引き続き「地域見守り活動」を推進する。

イ 住みよいまちづくりのための環境美化と新たな出会いや発見を目的に、「クリーン&ウォーク in かわぐち」を実施する。

ウ イベント開催時に、ベーゴマ、輪投げ等の「むかしあそび体験コーナー」を設置して、あそびの伝承を通して次世代の子供たちとの交流を図る。

エ 大地震や風水害等の災害が発生した際に、一刻も早く日常生活を取り戻すための災害時ボランティア活動の周知に努める。

オ 地域活動委員会において、引き続き、地域社会の活性化に貢献できる新規のボランティア活動について検討する。

(9) 組織の活性化

ア 公益社団法人としての使命と社会的責任を認識して、理事会及び各委員会の充実を図るとともに、事業運営の透明性の確保に努める。

イ 引き続き、新たなサークルの立ち上げをはじめ、会員の生きがいづくりのための活動支援に努めるとともに、会員作品展を実施して、価値観の多様性の尊重による相互理解を通して会員同士のつながりを強化する。

ウ 委員会委員長合同会議を開催して、各委員会の活動状況の把握と情報の共有化を図り、横断的な連携に努める。

エ 職員間の世代バランスを考慮し、新規職員の募集に向け準備を進める。

(10) 財政の健全化

ア 諸物価の高騰による必要経費の増加への対策と特定資産への充当のため、事務費率を10%から13%に引き上げる。

イ 公益法人会計基準の改正に伴い、「中期的収支均衡」が導入されたので、新たな財務管理の視点により、柔軟な対応に努める。

ウ 国庫補助金の交付基準の見直しに対応できるよう、会員の増強及び就業機会の拡大に積極的に取り組み、持続可能で安定的な財務基盤の確立に努める。

エ 公益法人制度改革の一環として財務報告の様式等が大幅に変更されることから、日常の会計処理や決算業務について見直しを行い、新基準に沿ったわかりやすい財務諸表の作成を目指す。

※ シルボンヌとは、シルバー人材センターで働く女性会員の愛称です。英語の「シルバー (Silver) 」とフランス語で「お手伝い」「親切」「優れた」を意味する「ボンヌ (bonne) 」を組み合わせた造語です。